



「特別の教科 道徳」における海洋教育の単元開発

～海と日本 PROJECT～

in 大阪府公立小学校



日程：2021年1月15日（金）

主催：一般社団法人アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム

○日程

2021年1月15日(金) 45分×1コマ

○開催場所



大阪府公立小学校(Zoom で実施)

○参加人数

小学3年生 35名

○イベントのねらい

ウミガメの産卵の写真や保護に取り組む人々の思いを通して、自然を守るために大切な心について考えさせ、自然やそこに生きる動植物を大切に、環境保全について関心を持とうとする心情を育てる。

○イベント内容

俳優と教員が共同して演劇的手法を使った道徳の授業の準備をし、zoom を使ったオンライン授業の形式で実践を行った。

教室の大きなモニター画面を児童が全員で見ている。

絵本「ウミガメ物語」を教員が教室で子供達の前で読み聞かせをし、

オンライン上では1回目の授業でウミガメの気持ちを共有した講師が絵本の中のウミガメ役を演じて児童に参加を呼びかけることにより、児童は聞き手ではなく、絵本の中の登場人物になったような気持ちで読み聞かせに「参加する」ことにより、絵本の世界を体感できるようになった。

○参加者の声

今日の道徳の時間で気づいたことは、人間がふくろやいろいろすててクラゲとまちがえて食べたりしているのでカメがかわいそう。思いでにのこったのは男の人2人で親子で話しあっているところが思い出にのこりました。ぼくはそのあと公園でカメをみました。

かめは海の中できけんなことにまきこまれないようにいっしょうけんめいに生きているんだと気づきました。

○写真



うみのなかには  
どんないきものが  
いるんだろう？



「おなかへった～」

カメは おなかがへっ  
なにをたべるのかな？